



あけましておめでとうございます。本年も「広報とき」をよろしく願います。
 今年は百年。新時代・新都市の幕開けを告げ、飛翔の年となる期待が膨らみます。
 今年一年が、皆さんにとって良い年となりますように。

あけましておめでとうございます

厳しい経済情勢の下での年明けであります。市民各位には新たな気持ちで新年をお迎えになられたことと拝察いたしております。

本市は、本年二月に記念すべき市制施行五十周年を迎えます。

過ぐる半世紀の間、各時代の先人の皆様がそれぞれのお立場で大変なご苦労とご努力をいただき、緑豊かな街づくりが進みました。

緑豊かな丘陵に想う

顧みますと、今から五十年前の野山は一面の秃山であり、見るも無残な状態でありましたが、市制施行に伴い全国にも珍しい治山課が設置され、国や県と連携して積極的な治山事業が展開されて、見事に豊かな緑が復活いたしました。

日本三大荒廃地の一つとまでいわれた土岐の秃山が、奇跡的に緑を回復し

た訳でありまして、正に日本の治山記念碑であります。

今や、一千万坪におよぶ土岐市有の緑豊かな貴重な丘陵地は、市民の誇るべき大切な財産であります。

環境の世紀を迎え、緑の保全は行政の重要な政策課題であります。



二〇〇五年 年頭所感

市制五十周年に想う

新たな街づくりを目指して

土岐市長

塚本保夫



新都市に想う

さて、市制五十周年を迎えて、待望久しかった東海環状自動車道がいよいよ開通し、本市は高速交通体系の重要な結節点となり、地域の発展可能性が飛躍的に向上することが期待されております。

そして、東濃研究学園都市構想の中心である「土岐プラズマ・リサーチパーク」も街開きとなり、世界の有名ブランド専門店が集中立地する「土岐プレミアム・アウトレット」が進出開店し、中部圏全域から年間三二〇万人以上の来訪客が予想されているほか、(土岐南) インターチェンジ周辺では、土岐口財産区が温泉開発に成

功され、三八度の良質な温泉が日量一



五〇トン湧出したしますので、温水プールなどのリラクゼーション(娯楽休養)施設を構築して、寛ぎの空間を整備し、将来に向けて研究者や企業従業者にも魅力ある地区とすることで、新産業や先端企業の誘致に活かして行きたいと考えております。

そうした中で、「産業の米」とも言うべき新素材の開発拠点として「国際マテリアル・アカデミー構想」が検討されており、この一帯を「マテリアル・パーク」としてはどうかと提案されております。

ところで、年に三二〇万人の人々が特定の地域に訪れるということは大変なことでありますが、行き交う人が多ければビジネスチャンスも広がりますので、私たち土岐市民が温かい「持て成しの心」を持ってお客様を迎え入れ、交流を通して地域の活性化を図ってまいりたいと存じます。

なお、土岐プラズマ・リサーチパークは現在開発中でありまして、地

肌が気になります。が、事業完了後は他に誇るべき緑いっぱいの新都市となりますので、ご安心ください。

五十年の歴史と未来に想う

ところで、過去五十年を振り返りますと、八カ町村の合併で土岐市が誕生して以来、地域の融和と連帯を基本として行政が展開され、陶磁器産業の振興と、子育て支援のため数多くの保育園が整備され、幼児教育の振興のため濃南二校を除く全小学校下に附属幼稚園が整備されてまいりました。

小・中学校も全面改築が進み、義務教育環境は整ってまいりましたし、生涯学習の場として、特色ある公民館の整備も進みました。

保健・医療・福祉の各施設整備と施策も充実し、関係各位のご理解と指導の下で立派に役割を果たしており、「クアハウス曾木」も保健休養施設として、現在着々と整備が進んでおりまして、濃南地域がスローライフ

とグリーン
ンツーリズム

の拠点となることを願っております。

上・下水道につきましては、上水道の全市給水体制の完了に続き、現在、汚水処理対策として、公共下水道・農村集落排水・合併浄化槽の適宜な組み合わせにより全市水洗化構想を推進中であります。幸い、本市の平成十五年度末の汚水処理人口普及率は82・7%と東濃五市の中でトップとなりましたが、さらに一〇〇%を目指して頑張りますので、ご協力をお願いいたします。時代はいよいよ「人口減少時代」に突入しようとしておりますが、これに着実に対応するため冒頭に申し上げましたように、緑を大切にしたい。環境負荷の少ない街づくりとしての既成市街地の再生が、今後の重

課題であり
ますので鋭意推進
してまいります。

中心市街地の再生は、若者にも高齢者にも便利で住み良い街づくりとなるものであり、街角の風情など景観にも十分配慮することが重要な課題になると存じます。

そして、地方分権時代が始まり、過去の中央指導の全国画一的な行政から、地方の自由な発想により、効率的で創意工夫に富んだ行政展開の時代がやってまいりました。

自己決定・自己責任を原則とした「市民の納得のゆく行政」実現のため、住民参加による市民と行政の協働（コラボレーション）を通して、市議会と連携し住み良い街づくりを進めたいと存じます。

市民の皆様とごども

終わりに、若年層が減少する中であって、その対策は将来に亘る肝要な課題であり、若者に希望の持てる職場を如何に確保するかが大切でありますので、何よりも産業構造の高度複合化を図るため、まず産業観光の振興により地場産業の魅力づくりを進めるとともに、新規産業の誘致による若年雇用の拡大により、他所からも若者を市内に呼び寄せることが大切であります。そして、その実現のため、現在、第五次土岐市総合計画を策定中でありますので、市民の皆様から率直なご意見、ご要望をお寄せいただければ幸甚でありますとともに、市民の皆様と一緒に、より具体的でしっかりとした総合計画にしたいと願っております。

市制五十周年の年頭に当たり、市民各位のご健勝とご清福を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



時代の変革期を迎えて

災害のないまちづくり

安心な暮らしを目指して

土岐市議会議員 佐分利 衛



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

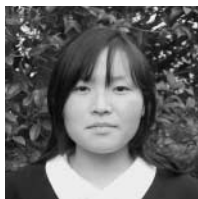
今年、土岐市が誕生してちょうど五十周年を迎え、記念すべき年であります。今日の本市の発展を思いますと、大変感慨深いものがございます。これもひとえに市民の皆様のご尽力のたまものと感謝申し上げます。現在、本市では平成十八年から二十七年までの十年

間のまちづくりの指針となる総合計画を策定中でありますが、景気の低迷や産業の空洞化などにより、地域の産業経済は厳しさが続いております。また、今後少子高齢化がさらに進み、人口も二〇〇六年をピークに減少していくと予想されております。このように時代の大きな変革期を迎え、将来展望の難しさがありますが、災害のない安心して暮らすことができるまちづくりが、なによりも求められ

みなさんに聞きました。今年はこんな年に…

辛さも糧に成長できる年に

私はこの春には社会人の一人となり、福祉の施設に就職するので気持ちを新たに、ゼロからのスタートで頑張りたいと思います。それと同時に介護士になる夢を決して諦めず、実現させるための努力をしようと思います。社会に出て働くことは、本当に簡単なことではないし、時には厳しさもあると思いますが、自分に負けず、辛さも糧にして、温かい人間へと成長できるような年にしたいです。



楓えりかさん 18歳
(土岐紅陵高校 3年)

困難に立ち向かえる中学生に



正村嘉良君 11歳
(駄知小学校 6年)

ぼくの短所は、物事に取り組んでいて、困難に直面するとすぐあきらめてしまうところです。やらなくてはいけないことは分っているけど、面倒くさくなってしまいます。

この短所の克服を意識して、困難に立ち向かえる中学生になりたいです。中学生になると勉強も難しくなると思うけど、自分が困ったとき、気合を入れてもう一回挑戦していく強さを身に付けたいです。



ていると思います。

幸い、本市は土岐プラズマ・リサーチパークの基盤整備も順調に進み、この三月にはプレミアム・アウトレットがオープンいたします。また、待望の東海環状自動車道も開通いたしますので、交通がキーワードの時代にあつて、高速交通の結節点に位置する本市は、大変可能性の高い地域であります。これまで進めてまいりましたまちづくりが大きく花開き、さらに飛躍するものと期待をいたしております。

いま、三位一体の改革が論議されておりますが、これは地域が決定すべきことは地域自らが決定できる仕組みを実現するということがあります。改革にはまだ時間がかかりますが、一日も

早く真の分権社会の実現が望まれます。

ところで、三市一町の合併が白紙となり、単独での市政運営となりましたので、厳しい財政状況の折、一層効率的・効果的な行財政運営が求められております。従いまして、本市議会では行政改革特別委員会を設置し、議会改革などについて取り組んでおりますが、これからも市民の皆様の付託と信頼に応えられるよう、議員一丸となって市民福祉の向上に努力してまいり所存でありますので、本年も変わらぬご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、市民の皆様のご多幸とご発展をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

一時、一時を大切に

5回目の年男、今年は、還暦、定年と感慨深い年になりそうです。教師生活38年、最後まで全力投球でがんばりたいと思います。

子どもが変わった、変わったとよくいわれますが、本質的には変わっていないと思います。子どもは本当に素晴らしく、夢があり、楽しい存在です。イギリスのことわざに「水車は、流れ去った水で粉を挽くことができない」とありますが、一時、一時を大切に高い理想に燃えて進んでいきたいと思います。



田中 和正さん 59歳
(曾木町)

幸せを感じる今の暮らしを今年も



長江 小夜子さん 47歳
(鶴里町)

鶴里に嫁いで21年目を迎えました。ご近所の皆さんや家族にもよくしていただき、平凡な暮らしの中にも幸せを感じています。「家族が健康で無事」今年もぜひそうした年になってくれればと思います。

また今年は、アウトレットのオープンなど楽しいことありますが、家業は油菓業なので、地場産業がもっと元気になってくれることを願います。

